



る う て る

2013年
2月
No.782

■発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区山谷砂土原町1-1
電話 03-3260-8631

■編輯口座■00190-7-71734
■ウェブサイト■http://www.jelc.or.jp
■E-mail■jelc@jelc.or.jp
■発行人■健軍会 m-okuono@jelc.or.jp
■印刷人■精工印刷株式会社
■定価■1部40円 (郵便を含む)

説教「これからのこと」

日本福音ルーテル栄光教会・沼津教会牧師 渡邊 進
ルカによる福音書9章28〜36節

この時節、どの教会も、教会総会を迎え、新たな年度へと向かっていることであろう。教会の目標を掲げて、新たな旅立ちをしようとしているに違いありません。どうぞ新しい年度が、主に祝福された年となりますようにお祈りします。

ところで、目標や、目的を掲げて、目指すのは人間だけでしょうか。しかし教会の目標や、目的は、一般社会に良く見られる、「目標(ヘスローガン)とは異なる。」(マタイ6章33節)



イエスが、(山上の説教)の中で説いた教えます。イエスは、私たちの生きて行く上での、処方箋を手ほどきしました。(思い悩むなど。私たちの日常抱える、心配事は絶えませんが、次から次に起こります。また不安も底流

に抱えながら生きています。それへの対処法を弟子に指南しました。しかしそれらへの細かい拘りを、根本的に解決する方法を、生きた目標という形で教えました。それが上記の言葉です。

果て、この目的をどのように進めるかが大きな課題です。今日、教会は足踏みをしているような状況です。最も大きな問題は、先が見えないということでしょう。

私は、この春引退しますが、今までの歩みを振り返ると、昨今の教会を取り巻く環境が厳しさを増しているとの認識を抱かざるを得ません。今教会は、まさに袋小路に「ぶち当たっている」ように感じます。

しかしキリスト教の歴史は、何と言っても、2000年間の歩みを控えています。これに学ぶことが肝要かと考えます。そうした時に、この今の困難は、これから迎える大きな発展の礎との結論に達します。



す。私は、そのことを(山上の姿容)程良く伝えている記事はないと考えます。

「この話をしてから八日程経った時、イエスは、ペトロ、ヨハネ、及びヤコブを連れて、祈るために山に登られた。」(ルカ9章28節)

山上の姿容は、理性的には理解が困難な記事です。しかしルカの場合、重要な言葉は、「祈るため」との言葉です。マルコにも、マタイにもその言葉はありません。ルカ特有です。ルカは、このほか、重要な場面では、「祈り」がなされています。如何にそれが大切かとのことです。

宗教改革五〇〇周年に向けて
ルターの意義を
改めて考える(10)

ルター研究所 所長 鈴木 浩

ルターの神学では、重要な言葉の意味がすっかり変わっていった、と指摘した。まず、「信仰」という言葉を取り上げよう。

それまでは、信仰とは教会の教えへの同意、という意味であった。「同意する」ためには、最小限その内容を知る必要がある。それが「使徒信条」や「二ヶ条信条」だ。信条を受け入れること、それが信仰であった。

ルターは、「違」と言っただけで、それはイエスに関わる過去の事実の確認でしかない信仰なのだ。

「身ぐるみ丸投げすること」とは、「運命を共にする」という意味である。「キリストが十字架の上で、わたしのためにご自身を丸投げされた。だから、わたしもそのキリストに自分を身ぐるみ投げだそう」。そう腹をくくることが、それがキリストに対する信頼であり、それが信仰なのだ。

い。ルターは信仰とは「信頼のことだ」と言った。「イエス・キリストに対する大胆な信頼」、これが信仰だ。誤解の危険を承知で言えば、「イエス・キリストに自分を身ぐるみ丸投げすること」である。それは、「身ぐるみ」であり、「丸投げ」である。ロトの妻のように、ここで後を振り返ってはならない。

申し込みは2013年2月24日までに下記へ
62-0908 熊本県熊本市新生 2-1-3
日本福音ルーテル健康教会 小泉 基 宛
TEL・FAX 共用：096-368-2917 (健康教会)
E-Mail: kengun@jelc.or.jp

「教会手帳2013」
定価 1,100円

お申し込み先
北陸地区(TEL:011-737-1721/FAX:011-747-5979)
近畿地区(TEL:03-3260-8631/FAX:03-3260-8631)
関東地区(TEL:03-3260-8631/FAX:03-3260-8631)
中部地区(TEL:052-741-2416/FAX:052-733-2689)
四国地区(TEL:082-228-4914/FAX:082-223-0951)
九州地区(TEL:096-372-3503/FAX:共用)
上記以外各会区

信徒の声

「第16回全国青年修養会に参加して」

小石川教会 竹腰もと



紅葉舞う千年の古都京都にて開催された「第16回全国青年修養会」11月23日〜25日に参加しました。都合で一泊二日だけの参加となりましたが、京都に夜行バスで早朝に着き、会場となった京都教会に向かう途中、鴨川の流れば千年の古都の思いを晩秋の香りと一緒にまるで私に吹き入れるかのようでした。

さて今回のテーマは「信仰」です。一昨年の長崎における「全国青年会」で見学した「二十六聖人殉教地」の原忠とも言えるべき京都においてキリシタン弾圧の歴史的事実と、その史跡を訪れ、実際に確認す

ると言うことです。最初に洛西バプテスト教会の杉野榮先生の「都のキリシタン史跡」についての講義を受けました。講義の中で「京都と言っ街はキリシタンを徹底的に弾圧し痕跡をなくした街でもある」と言う先生の言葉が印象に残りました。それは勿論京都の庶民がそれを望んだ訳ではなく、時の権力者である豊臣政権や徳川幕府の政策であった訳です。

京都市内の史跡巡りへと行きました。名所旧跡と所在が重なったキリシタン史跡は紅葉の観光シーズンと重なったために大変混雑していました。旧跡の寺院に所在するキリシタン史跡は一見何の変哲もない、例えば石庭や石灯籠なのですが、石が十字形に配置されているとか、灯籠の地中部分に聖母像が刻まれているとか、禁教下においても信仰の痕跡を残そうとした人々の思いが忍ばされました。ただ説明がなければキリシタン関係とは一切分からないと



言わなくなった名もなき人々の信仰の証として私の心に深く残りました。

一昨年の長崎での全国青年会は「平和」を主題としたものでした。今年はその長崎のキリシタンの原忠ともいえる京都で「信仰」を主題としたものです。「信仰」と「平和」はけっして別物ではありません。「平和」あつての「信仰」です。その「信仰」によって真の平和が実現されるのだと思います。

最後に、参加されました全国の青年の皆様、京都教会の沼崎先生、また京都教会会員の皆様には大変お世話になりました。有難うございました。

「つるしびな」プロジェクト
野口勝彦
派遣牧師
仮設・地域支援として昨年8月より始まった「つるしびな」プロジェクトも震災から二年目に当たる来月

牧師の声

「標本がつむいだ池田教会の歩み」

教会讚美歌213番と吉田康登牧師と植物標本

帯広教会 加納寛之



十二月二十五日の十勝毎日新聞に池田教会(帯広教会池田礼拝所)のクリスマス礼拝の様子が掲載された。四十年の年月を経て、池田教会初代牧師吉田康登牧師の作成された植物標本が里帰りし、教会と地域の交わり、吉田牧師の歩みが証しされた恵みの時となった。

池田教会誕生と吉田牧師の歩みの次第は次のようである。吉田牧師は太平洋戦争時、教職を辞し、北海道浦幌町に開拓農民として入植された。働きの中で住民の求めに応え、吉田牧師は一キリスト者として家庭集会を開始。浦幌町

にキリスト教の群れが生まれた。時を同じくして浦幌町から三十キロ離れた池田町でも家庭集会が守られ、その熱意は教会誕生を熱望することとなった。土地が与えられ、夢が現実に向けて歩み出す中で池田の人々は吉田牧師に牧師として働くことを依頼した。その祈りは日本福音ルーテル池田教会の誕生(編入)と吉田牧師の教職復帰となり、池田の地で伝道は大きく進展していった。吉田牧師は牧会の際、専門的な知識をもって植物標本を作製された。野外礼拝の際には胴乱(採集植物を入れる缶)を背



負った写真も残っている。会堂建築の時には押花ハガキを作成し、販売されたことも当時の新聞記事から伺い知ることができる。吉田牧師は浦幌町を離れ、池田町に転居されたが、浦幌町とのつながりも強く作られた植物標本は浦幌町博物館に寄贈され、今回「召天記念日」の十二月二十五日に里帰りをしたのである。

教会賛美歌二一三番「朝露」の歌詞は吉田康登牧師が書かれたものである。そこには吉田牧師の生涯と地域に生きた証しと神さまが創造された自然に

向き合う信仰が詰まっていることに植物標本は気づかせてくれた。教会の歩みは不思議なみわざでつむがれていく。

池田教会の歴史をまとめたくださった古財成牧師にこの場を借りて感謝申し上げます。新聞記事は帯広教会ホームページ内で閲覧できます。
<http://www.jelc.or.jp/dohiro>

JLER(ルーテル教会救援)対策本部
現地からのレポート
JLER派遣牧師 野口勝彦

「となりびと」では震災発生時からこれまで、様々な救援・支援プロジェクトを展開してきました。今月号では、その中で現在進行中の二つのプロジェクトの経過報告をいたします。

「前浜コミュニティセンター再建プロジェクト」
チーフスタッフ 佐藤文敬

気仙沼市本吉町前浜地区で、2011年7月から進めてきたコミュニティセンター再建支援が、ようやく本体工事までたどり着きました。

2011年10月に地元の人たちによる建設委員会が立ち上がり、これまで20回以上の話し合いを重ねてきました。その過程で

2012年7月には建設用地を取得、9月から始まった造成工事は11月に完了し、年末の12月19日から本体工事が始まりまし

た。

完成目標は2013年7月。「コンクリートの確保が難しい」、「職人さんが足りない」と様々な問題をクリアしながらの建設工事になります。どうか無事に建設工事が進むよう、みなさんも一緒にお祈り頂ければと思います。

11日の完成を目指し、最終段階に入っています。このプロジェクトは、震災によって引き裂かれた地域の絆と仮設団地に住む方々の生きがいづくりを目的として、石巻市内三ヶ所の仮設団地集会所でそれぞれ1回、地元ボランティア団体の指導により行われています。毎回20名前後の方が午前10時30分から午後3時30分まで、全国から送っていただいた銘菓をいただきながら「つるしびな」づくりに励んでいます。

先日、ある方が「つるしびな」づくりがあつて本当に良かった。狭い仮設で一日中、やることもなくずっと籠っていたらと感謝の言葉を述べられていました。また、先月、地元の社会福祉協議会の機関紙にもこの活動が紹介されるなど地域に密着した活動となつていきます。これまでの皆様のお支えとお祈りにあらためて感謝いたします。尚、完成した「つるしびな」の展示会を行う予定です。詳細が決まりましたらご案内いたします。

「つるしびな」は、被災地の復興支援の一環として、被災地訪問ボランティアの手でつむがれていくプロジェクトです。詳しくは、<http://lutheran-tonaribi.blogspot.jp/>

バッハのカンタータを聴く⑩ ヨハネ受難曲 (BWV245)

日本ルーテル神学校名誉教授 徳善義和

一五二三年初夏にライプツィヒのトマス教会カントーレルに就任したバッハは翌年春そこで最初の四旬節と受難週を迎えた。聖曜日の夕拝では、毎年トマス教会がニコライ教会で交互に受難曲が演奏されることになっていった。一五二四年の聖金曜日(四月七日)、バッハが想を練って準備し、ニコライ教会で歌われたのがヨハネ受難曲である。

イエスの受難を「主の栄光の時」とするヨハネ福音書に於いて、第一曲「主よ、我々の支配者よ、その誉れは全地に輝く」の合唱が始まり、信仰者自身の死をこの主に委ねる終曲のコーラルに至るまで、マタイ受難曲とは大いに趣を異にする特徴をもっている。それゆえに私自身もどちらかと言えば、このヨハネ受難曲を好んで聴いている。受難曲はキリストの「受難」を歌い通すべきだという市参事会などの批判もあつて、初演後にヨハネ受難曲は何度か書き直されたが、最終稿(1749年)とされているものは結局初演に近い形で残されている。

ライプツィヒのルーテル教会はこの新しい傾向を認めなかったから、バッハは、福音書の受難記事を中心に、コーラルと、独自の詩によるレチタティヴォやアリアを加えた「オフトリオ受難曲」を重視し続けた。ヨハネ受難曲もヨハネ18、19章をすべて生かし、さらに上述のプロクセスの詩六編余や他の詩人の自由詩を用いて、全体を構成し、聖金曜日礼拝において説教を挟んで、二部に分けて歌わ

れた。イエスの受難を「主の栄光の時」とするヨハネ福音書に於いて、第一曲「主よ、我々の支配者よ、その誉れは全地に輝く」の合唱が始まり、信仰者自身の死をこの主に委ねる終曲のコーラルに至るまで、マタイ受難曲とは大いに趣を異にする特徴をもっている。それゆえに私自身もどちらかと言えば、このヨハネ受難曲を好んで聴いている。受難曲はキリストの「受難」を歌い通すべきだという市参事会などの批判もあつて、初演後にヨハネ受難曲は何度か書き直されたが、最終稿(1749年)とされているものは結局初演に近い形で残されている。



「詩編23」

ステンドグラス工房 アスカ
山崎種之松本教会(会員)

静岡県袋井市山崎にある特別養護老人ホーム「ディアコニア」の玄關ホールに、主題詩編である「詩編23」のステンドグラス(写真下)がありま

羊飼いは、どこに草地があり、水場があるかを熟知して、必要に応じて群れの移動を導きます。大勢の群れの移動には困難や危険が伴いますから、群れの安全に苦心します。定住ではなく、いつもテントで野宿する生活ですから、群れの移動も大仕事です。



Teens部門小澤美紀 (なごや希望教会)

今、我が家は全寮制の小さな高校の校内に遊びに来る生徒たちは、学校で

私たちには誰でも仮面をかぶつたまま生きていけば苦しくなりません。どこかでそれを脱いでありのままの自分でいられる時間がなければ、生きるのが嫌になってしまふでしょう。子どもたちは仮面をかぶらなくともいい場所を求めています。

でも受け入れてくれる人に出会ったり、仮面をかぶらずに生き生きと生きている人に出会ったりすると、その子どもにも何か変化の兆しが表れてくると、私は身近な生徒たちを見ていて思います。そのような場所や出会いが必要なのです。

春の全国ティーンズキャンプは、この3月で20回目を迎えます。ここ数年、90名以上の参加者が与えられてきました。20回目は「イエス・キリストに出会う」というテーマで学びあい、語りあえるプログラムを計画しています。キリストがどういうお方であるのかを知ることが、その後の生活の中でいつかキリストに出会うことにつながるようにと願って、このテーマになりました。

れぞれが、それぞれの場所

れぞれが、それぞれの場所

第5回 教会推薦理事研修会

の教会推薦理事、加えて
幼稚園の園長・牧師を含
め、全国14の法人から、32
名の出席がありました。

開会礼拝の中で、立山
議長は「教会推薦理事に
は、教会と各法人をつな
ぐ「橋渡し」の役割が最も
期待されている事ではな
いか？」と確認されまし
た。

成人式の日となる一月
十四日、市ヶ谷ルーテル
センターで、5回目とな
る「教会推薦理事研修会」
が開催されました。東京
はこの日、思いがけない
大雪に見舞われ、積雪の
影響で電車や飛行機の遅
れも生じるあいにくの日
となりましたが、主催と
なる日本福音ルーテル教
会をはじめ、ルーテルグ
ループの枠組みにある学
校法人及び社会福祉法人
の教会推薦理事、加えて
幼稚園の園長・牧師を含
め、全国14の法人から、32
名の出席がありました。

園長まで、広く学校運営
に責任を持たれる山北宣
久先生から、実践に基づ
いた基調講演がありました。
「キリスト教主義の学
校では、法人の使命(ミッ
ション)と、環境や時間の
変化に関わらず、連続す
る同一性(アイデンティ
ティ)が希薄にならぬ
ようにするのが重要な課
題」、「個人主義と物質至
上主義が色濃く拡がって
いる日本において『現在
から将来、自分から他者
に目を向けさせていく。
この宗教の役割』を本学

教育の使命に据える」、
「与えることに生き、与え
ることを喜ぶ、これがキ
リスト教精神の法人の共
通性ではないか」等が語
られました。

続いて、増島俊之氏が
学校法人の視点から「キ
リスト教の特色が良く活
かされることと、大学と
してのレベルをいかに上
げるかで相反がある現
状」現在の教会が支援す
ることの意味」を切り口
に、友田直人氏は社会福
祉法人の視点から「創設
の歴史では、随所に信仰
に立つ働き人の情熱が見
えられた。現代、法的整備が進
んだが、マンパワーが弱
り、先駆的な法を超える
キリスト教主義の働きが
興らなくなってきた課
題について述べ、出席者
もそれぞれの立ち位置か
ら意見を交換しあう時間
が持たれました。

終わりのまとめにおい
て、山北師は、大事なのは
ロゴス。語る言葉が法人
運営の内実にも影響を
してくる。言葉として、き
ちんと、迫力をもって語
る。『らしさの主張』こ
そが不可欠」との提言も
印象的でした。

豊かな実践
活動の息吹が
確認された時
間であり、全
国に広がる
ルーテルグ
ループが、そ
の共通性と専
門性を見つめ
直す研修会と
なったこと、
感謝をもって
ご報告いたし
ます。

事務局長
白川道生



増島俊之氏 講師 山北宣久先生 友田直人氏



2012年度 連帯献金報告

今日の社会・世界にお
ける福音の宣教、奉仕、災
害緊急の支援活動として、
日本福音ルーテル教会が
お願している「連帯献
金」のために、2012年
度は各教会・団体及び
教員・教会関係者の方々
から287万9千546
円が捧げられましたので、
それぞれの宣教・奉仕の
活動のために捧げさせて
いただきます。

2013年度も、引き続き
「連帯献金」への支援と
協力をよろしく願いま
します。

日本福音ルーテル教員会

- ブラジル伝道(44件) 198万5千710円
- メコンミッション支援 (カンボジア)(4件) 12万9千517円
- 希望の家(5件) 14万円
- 世界宣教・無指定献金(16件) 62万4千319円

- 【個人】
ルuter学院中学・高等
学校、めばえ幼稚園、女性
会連盟、東教区、小城幼稚
園、わかば保育園、ブラジ
ル報告会、尾張岐阜地区宣
教委員会、本教区総会、田
園調布幼稚園、東教区女性
会
- 【教会】
山川泰宏・泰子、真木澄子、
吉川、芳野、魚田健、乙守
望、花城裕一朗、小山茂小
泉、渡辺純子、厚味勉
- 【教会】
宮崎教会、なごや希望教
会、大岡山教会、博多教会、
水保教会、保分教会、小石
川教会、刈谷教会、恵み野
教会、大岡山教会、市ヶ谷
教会、京都教会、武蔵野教
会、本郷教会

- 【個人】
小泉基、博多教会、水保教
会、保分教会、市ヶ谷教会
- 【世界宣教・無指定16件】
蒲田教会、東京池袋教会、
九州教区青年会、箱崎教
会、帯広教会、千葉教会、小
山茂、帯広教会、箱崎教会、
JELLAチャリティコン
サート、博多教会、山崎恵
美子、恵み野教会、めばえ
幼稚園、小羊会

- 【個人】
告させて頂きます。この献
金は、2014年3月まで
宮城県の現地に、復興・
復旧のための支援活動を
継続している「ルーテル教
会救援」(JLEER)の活動
のために捧げさせていた
だきます。
- 【教会】
東日本大震災救援献金
(206件) 538万2千611円
- 【教会】
岡山教会、高蔵寺教会、下
関教会、帯広教会、小田原
教会、別府教会、甲府教会
教会、雪ヶ谷教会、大分教
会、三鷹教会、熊本教会、稔
台教会、小鹿教会、福山教
会、豊中教会、恵み野教会、

- 【個人】
甘木教会、箱崎教会、福岡
西教会、神戸教会、東京池
袋教会、松江教会、二日市
教会、博多教会、長野教会、
小石川教会、刈谷教会、宮
崎教会、健康教会、唐津教
会、蒲田教会、大岡山教会、
都府教会、飯田教会、挙母
教会、室園教会、小宮教会、
八幡教会、宇都宮教会、なご
や希望教会、高蔵教会、板
橋教会、仙台教会、湯河原
教会、新霊山教会、鹿児島
教会、浜名教会、大江教会、
阿久根教会、本郷教会、三
原教会、名古屋めぐみ教
会、羽村教会、聖(テロ)教
会、藤が丘教会、小倉教会、
大垣教会

- 【個人】
調布幼稚園、一粒の麦、大
森幼稚園、ルーテル保育
園、九州学院中学、高等学
校、恵泉幼稚園、女性会連
盟、横浜英和学院、賀茂高
校、広島教組養護教員部、門
司幼稚園、九州教区女性
会、大岡山幼稚園、近畿福
音ルーテル教会、ベタニア
ホーム、日田幼稚園、東教
区総会、神水幼稚園、千葉
ベタニアホーム、天山路
園、熊本地区女性会、東
海地区女性会、東教区宣教
フォーラム、旭川聖パウロ
教会、筑後地区女性会、東
垂水教会、北見聖(テロ)教
会、蒲田幼稚園、鳥取教会、
東教区宗教科改革礼拝、甲信
地区信徒の集い、めばえ幼
稚園、ルーテル学院幼稚
園、西条ルーテル幼稚園

- 【個人】
ルーテル学院中学、高等学
校、奈多愛育園、老人ホ
ム、ティアコニア
- 【個人】
花城裕一朗、市川旬、蒲
和行、木村修、小林文恵
ヤマダワカキ、木村修
吉田玲子、河田洋、筒井美
紀、東和春、青山くるみ
KOTSURAKALIO、樺沢
宏美、山崎恵美子、渡功美
江、ポーマン・ベルニダ、
小山茂、辻谷健子、津川
子、坂井茂子、大久保友子、
久保彩奈、鈴木哲夫、Vッ
ベリ、大森はつ子、小林宏
子、大牧正子、石田せい子、
岩井順子、安藤礼代子

(教会名・団体名は順不同)